

2 補助事業計画書

事業者名	社会福祉法人 米沢仏教興道会		
事業所名	星の村 【事業所番号： 0670401280】	利用者数	60
介護サービスの種類	特定施設入居者生活介護 介護予防特定施設入居者生活介護 ) 一体型 居宅	職員数 (常勤換算)	34 (一体型居宅 職員数)
導入する製品名・機器名 導入時期及び台数	【記入例】・介護ソフト名——式購入——令和2年11月導入予定 内田洋行 IT の「絆 Core 高齢者介護システム」 一式購入 タブレット (iPad) 12 台購入 交付決定後、すみやかに着手		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	○購入・リース (契約期間 年 月～ 年 月)		
事業概要 (現在の問題点・ 運用方法・職員との導入意 義の共有)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護現場にて介護記録データの登録・閲覧を可能にし、情報共有の効率化とサービスの向上を図る。</li> <li>・記載事項のテンプレート活用や一括入力機能により、記録時間の大幅な省力化が期待できる。</li> <li>・入力された情報は条件による絞り込み機能で簡単に表示できるため、会議などで使用するための情報の分析・活用がしやすくなる。</li> <li>・申し送り事項は一目で確認できるようアラートとして表示されるため、引継ぎをすばやく完了させることが可能になる。</li> <li>・記録業務を電子化することで、リアルタイムな情報共有が容易になり、サービスの向上を期待できる。</li> </ul>		
導入により達成すべき目 標	<p>○導入後 (翌年) 1 年目 タブレットに慣れる</p> <p>○2 年目 普段の業務にタブレットを活用する</p> <p>○3 年目 導入により介護職員等の負担軽減につなげる</p>		
導入により期待される効 果等	<p>○導入後 (翌年) 1 年目 介護記録方法等の見直し</p> <p>○2 年目 間接業務 (移動や書類の記入など) 時間の短縮</p> <p>○3 年目 事業所内 (職員間) の円滑な情報共有</p>		
効果検証の方法 (効果に関 するデータを客観的な評 価指標に基づいて記録)	例) 介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者 (利用者) の満足度、日々の活用状況が確認できる日誌等を用いるなど 他の介護サービス事業者等の参考となるべき内容等 介護従事者への聞き取り、タブレット活用の検証		

## 2 補助事業計画書

事業者名	社会福祉法人羽黒百寿会		
事業所名	特別養護老人ホームかみじ荘 【事業所番号：0673000337】	利用者数	50名
介護サービスの種類	介護老人福祉施設	職員数 (常勤換算)	33.8人
導入する製品名・機器名 導入時期及び台数	①介護ソフト「福祉見聞録」のタブレットソフト「見るっち」7ライセンス ②Apple タブレット iPad 7台 ③タブレット導入に伴い無線LAN環境の整備に必要な機器及び設定		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="radio"/> 購入・リース (契約期間 年 月～ 年 月)		
事業概要 (現在の問題点・ 運用方法・職員との導入意 義の共有)	<p>・現在の有線LAN環境では限られた場所 (介護員室) にのみパソコンを設置しており、現場の職員が入居者のバイタルやケース記録を紙媒体に記入し、その後、介護ソフトに入力している。また、人材不足等の理由により職員が所定労働時間内でのケース入力に難しい場合、時間外業務を行う事で対応している。タブレット対応介護ソフトを導入し現場で直接入力出来る環境を整える事で、業務時間の短縮を図り職員の負担軽減と、入居者に対するサービスの質の向上を目指したい。</p> <p>・コロナ禍により入居者と家族のリモート面会や研修等へのリモート参加を実施しているが、施設内のネット接続が有線LANのみである為、場所が限られており、無線LAN環境を整える事で場所を選ばないリモート面会や研修参加を可能にし、利用者の生活環境や職員の労働環境の改善を目指したい。</p>		
導入により達成すべき目標	<p>○導入後 (翌年) 1年目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレット及び介護ソフトについて介護現場の職員全員が熟知し、介護現場におけるタブレット及び介護ソフトの活用方法を確立する事で業務効率を向上させる。</li> <li>・リモート面会や研修出来る環境の改善。</li> </ul> <p>○2年目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレット及び介護ソフトを導入した事で得られた業務効率の改善結果を検証しながら、いかに入居者の為に活かしていくかを検討し入居者に対するサービスの質を向上させ、職員の業務負担を軽減する。</li> </ul> <p>○3年目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護ソフトのみならず、タブレットの活用方法について職員一人一人が思案し開発する事で、さらなる業務効率とサービスの質の向上を図っていく。</li> </ul>		

<p>導入により期待される効果等</p>	<p>○導入後（翌年） 1 年目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護現場の業務の時間短縮及び時間外業務の削減</li> <li>・人材不足の解消</li> <li>・入居者が本人の居室にしながら家族とリモート面会できる環境</li> </ul> <p>○2年目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレット導入によって生み出された時間を活用する事による、入居者へのサービスの質の向上</li> </ul> <p>○3年目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレットを活用する事で今まででは成しえなかった幅の広いサービスの提供。（例 タブレットのパズルや計算ゲーム等の脳トレソフトを用いた認知症防止効果）</li> </ul>
<p>効果検証の方法（効果に関するデータを客観的な評価指標に基づいて記録）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・効果の検証方法として現場の職員に対して、①バイタルやケース記録の入力にパソコンに費やす時間の短縮、②職員の業務負担軽減、③タブレット及び介護ソフト導入に対する職員及び利用者の満足度等についてアンケートを用いて調査する。</li> </ul>

## 2 補助事業計画書

事業 者 名	医療法人社団 さつき会		
事業 所 名	老人保健施設 明日葉 【事業所番号：0650880016】	利用者数	80
介護サービスの種類	介護老人保健施設	職員数 (常勤換算)	39.01
導入する製品名・機器名 導入時期及び台数	【記入例】・介護ソフト名一式購入 令和2年11月導入予定 ・ワイズマン ケア記録&すぐろく Tablet 一式購入 令和3年3月導入予定		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="radio"/> 購入・リース (契約期間 年 月～ 年 月)		
事業概要 (現在の問題点・ 運用方法・職員との導入意 義の共有)	現在、紙ベースで記録をしており、転記の必要性があり、業務の効率化を検討している。そこでICTを導入し、転記作業の削減や情報の効率化を行い、生産性の向上を図る。		
導入により達成すべき目 標	○導入後 (翌年) 1年目 転記作業の削減  ○2年目 書類作成時間の軽減、書類のスリム化  ○3年目 直接介護にあたる時間を増やす		
導入により期待される効 果等	○導入後 (翌年) 1年目 記録作業の軽減  ○2年目 記録作業の軽減、情報の共有化  ○3年目 業務の効率化による離職防止		
効果検証の方法 (効果に関 するデータを客観的な評 価指標に基づいて記録)	例) 介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者 (利用者) の満足度、日々の活用状況が確認できる日誌等を用いるなど他の介護サービス事業者等の参考となるべき内容等 ・職員にアンケートを実施し、業務の改善や効率化を調べる		

## 2 補助事業計画書

事業者名	社会福祉法人ユトリア会		
事業所名	ユトリアケアセンターかすみ 【事業所番号：0690100359】	利用者数	29名
介護サービスの種類	地域密着型特別養護老人ホーム	職員数 (常勤換算)	22.6名
導入する製品名・機器名 導入時期及び台数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ほのぼのNEXT 栄養ケアマネジメントシステム</li> <li>・無線アクセスポイント一式</li> </ul> 令和3年1月導入予定		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="checkbox"/> 購入 ・ リース (契約期間 年 月～ 年 月)		
事業概要 (現在の問題点・ 運用方法・職員との導入意 義の共有)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現在使用している介護ソフトに栄養ケアの項目が入っておらずソフト内で一連の作業ができない。</li> <li>・ 無線環境がなく全フロア有線 LAN で繋いで介護ソフトの入力、閲覧を行っており、特定の場所でしか作業ができず業務効率が悪い。介護支援専門員なども、事務所に戻らないと作業ができない。</li> <li>・ 無線環境の整備と介護ソフトへの栄養ケアに関する項目の組み込みにより、誰もがどこでも作業できる環境を作り、栄養ケアに関する業務の無駄を削減する。</li> </ul>		
導入により達成すべき目 標	<input type="checkbox"/> 導入後 (翌年) 1年目 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 栄養ケアマネジメントを導入することにより、栄養ケアに関する重要性を職員に認識させ、栄養に関する意識を向上させる。</li> <li>・ 無線環境の整備により作業効率を上げ、職員の満足度を上げる。</li> </ul> <input type="checkbox"/> 2年目 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利用者の食事に対する満足度を向上させる。</li> </ul> <input type="checkbox"/> 3年目           利用者の食事に対する満足度をさらに向上させる。		
導入により期待される効 果等	<input type="checkbox"/> 導入後 (翌年) 1年目 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職員の意識と知識の向上。</li> <li>・ 作業効率化のアップ。</li> </ul> <input type="checkbox"/> 2年目 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利用者の食事に対する満足度が向上する。</li> </ul> <input type="checkbox"/> 3年目 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利用者の食事に対する満足度が向上する。</li> </ul>		
効果検証の方法 (効果に関 するデータを客観的な評 価指標に基づいて記録)	例) 介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者 (利用者) の満足度、日々の活用状況が確認できる日誌等を用いるなど他の介護サービス事業者等の参考となるべき内容等 利用者の食事の満足度調査を継続して行い、導入前よりも満足度を向上させる。		

## 2 補助事業計画書

事業者名	社会福祉法人ユトリア会		
事業所名	ユトリアケアセンターなりさわ 【事業所番号：0690100664】	利用者数	29名
介護サービスの種類	地域密着型特別養護老人ホーム	職員数 (常勤換算)	23.7名
導入する製品名・機器名 導入時期及び台数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ほのぼの NEXT 栄養ケアマネジメントシステム 令和3年1月導入予定</li> </ul>		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="checkbox"/> 購入 ・ リース (契約期間 年 月～ 年 月)		
事業概要 (現在の問題点・ 運用方法・職員との導入意 義の共有)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現在使用している介護ソフトに栄養ケアの項目が入っておらずソフト内で一連の作業ができない。</li> <li>・ 介護ソフトへの栄養ケアに関する項目の組み込みにより、栄養ケアに関する業務の無駄を削減する。</li> </ul>		
導入により達成すべき目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○導入後 (翌年) 1年目               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 栄養ケアマネジメントを導入することにより、栄養ケアに関する重要性を職員に認識させ、栄養に関する意識を向上させる。</li> </ul> </li> <li>○2年目               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利用者の食事に対する満足度を向上させる。</li> </ul> </li> <li>○3年目               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利用者の食事に対する満足度をさらに向上させる。</li> </ul> </li> </ul>		
導入により期待される効 果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○導入後 (翌年) 1年目               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職員の意識と知識の向上。</li> <li>・ 作業効率化のアップ。</li> </ul> </li> <li>○2年目               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利用者の食事に対する満足度が向上する。</li> </ul> </li> <li>○3年目               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利用者の食事に対する満足度が向上する。</li> </ul> </li> </ul>		
効果検証の方法 (効果に関 するデータを客観的な評 価指標に基づいて記録)	<p>例) 介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者 (利用者) の満足度、日々の活用状況が確認できる日誌等を用いるなど他の介護サービス事業者等の参考となるべき内容等</p> <p>利用者の食事の満足度調査を継続して行い、導入前よりも満足度を向上させる。</p>		

## 2 補助事業計画書

事業者名	社会福祉法人 <sup>財団</sup> 済生会支部山形県済生会		
事業所名	特別養護老人ホーム山静寿 【事業所番号： 0670103282】	利用者数	100
介護サービスの種類	特別養護老人ホーム	職員数 (常勤換算)	66
導入する製品名・機器名 導入時期及び台数	Wifi 新設工事 タブレット 6 台及び東経システムタブレットソフト一式 令和 3 年 2 月導入予定		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="radio"/> 購入・リース (契約期間 年 月～ 年 月)		
事業概要 (現在の問題点・ 運用方法・職員との導入意 義の共有)	<p>介護ソフトへの記録入力について、現状紙ベースで記録後、固定の PC に入力するという重複した作業があり、介護職員の負担となっている。介護ソフト会社より、タブレットを使用した入力機能の紹介があり、タブレットで入力した記録を同期する事により、1 度の作業で記録入力が可能になり、職員の負担軽減につながる事が見込まれる。</p> <p>デモ時も、参加者の介護職員・看護師から導入の要望があり、介護職員・看護師の負担軽減を図る為、各ユニット 1 台 (5 ユニット) と医務室 1 台の計 6 台の導入を行いたい。</p>		
導入により達成すべき目 標	<p>○導入後 (翌年) 1 年目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ベンダーによるシステム説明会の実施及びマニュアルによる使用方法の習熟</li> <li>・記録入力業務の短縮</li> <li>・紙ベースでの記録業務の削減</li> </ul> <p>○2 年目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・記録入力業務の短縮</li> <li>・紙ベースでの記録業務の削減</li> </ul> <p>○3 年目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・記録入力業務の短縮</li> <li>・紙ベースでの記録業務の廃止</li> </ul>		
導入により期待される効 果等	<p>○導入後 (翌年) 1 年目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・時間外労働の減少</li> <li>・入居者と直接関わる時間の増加</li> <li>・間接業務の軽減</li> </ul> <p>○2 年目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・時間外労働の減少</li> <li>・入居者と直接関わる時間の増加</li> <li>・間接業務の軽減</li> </ul> <p>○3 年目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・時間外労働の減少</li> <li>・入居者と直接関わる時間の増加</li> <li>・間接業務の軽減</li> </ul>		

効果検証の方法(効果に関するデータを客観的な評価指標に基づいて記録)

・介護職員への満足度調査(記録入力時間の短縮、負担軽減の効果等)

2 補助事業計画書

事業者名	社会福祉法人 山形県玉葉会		
事業所名	外部サービス利用型指定特定施設蔵王長寿園 【事業所番号：0671300374】	利用者数	35名
介護サービスの種類	介護老人福祉施設 <del>特定施設入居者生活介護</del>	職員数 (常勤換算)	21名
導入する製品名・機器名 導入時期及び台数	絆 Core 高齢者介護オンプレ版(5年契約) 一括購入 絆 Core 高齢者介護・設定 8台 一式購入 無線 LAN 設定・iPad(2台)一式購入 令和3年1月導入予定		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="radio"/> 購入 <input type="radio"/> リース (契約期間 年 月～ 年 月)		
事業概要 (現在の問題点・ 運用方法・職員との導入意 義の共有)	介護現場にて介護記録データの登録・閲覧を可能にし、情報共有の 効率化とサービスの向上を図る。 ・記載事項のテンプレート活用や一括入力機能により、記録時間の 大幅な省力化が期待できる。 ・入力された情報は条件による絞り込み機能で簡単に表示できる ため、会議などで使用するための情報の分析・活用がしやすくなる。 ・申し送り事項は一目で確認できるようアラートとして表示され るため、引継ぎをすばやく完了させることが可能になる。 ・記録業務を電子化することで、リアルタイムな情報共有が容易に なり、サービスの向上を期待できる。		
導入により達成すべき目 標	○導入後 (翌年) 1年目 リアルタイムな情報共有によりヒヤリハットなどのインシデント 削減、リスクパターンの発見や個別支援の充実を図る ○2年目 事務作業に関わる時間を30分間削減、 利用者とふれあう時間を30分間増加 ○3年目 事務作業に関わる時間を1時間削減、 利用者とふれあう時間を1時間増加		
導入により期待される効 果等	○導入後 (翌年) 1年目 システム運用により業務を標準化し、品質と生産性の向上を目指す ○2年目 職員のチームケアの質の向上、人材の定着を目指す ○3年目 サービス利用者の満足度向上、経営の安定化を目指す		

## 2 補助事業計画書

事業者名	社会福祉法人正覚会		
事業所名	グループホームライフケア黒森 【事業所番号：0690800297】	利用者数	9人
介護サービスの種類	認知症対応型共同生活介護	職員数 (常勤換算)	7.75人
導入する製品名・機器名 導入時期及び台数	製品名：エレコム無線アクセスポイント（WAB-I1750-PS） 台数：4台 製品名：バッファローPOEスイッチ（BS-GS2008P） 台数1台 導入時期：令和3年1月 <span style="float: right;">wifi環境</span>		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	購入		
事業概要（現在の問題点・ 運用方法・職員との導入意 義の共有）	事業所内のインターネット環境を有線式から無線式に変更する工 事を行うことで、介護職員は、場所を選ばず記録作業を行うことが できる。3年間の事業計画中に、介護ソフトと連動が図れるタブレ ットを導入し、記録作業に加え入所者のケアプランや日課の確認を 行いながらケアができる環境を整える。また、ベッドセンサーを導入 し、入居者の健康状態把握や転倒などの介護事故防止を図る。職 員は、業務の軽減や介護事故防止の取り組みが進み精神的にも負担 の軽減に繋がることに期待している。		
導入により達成すべき目 標	○導入後（翌年）1年目：館内全てのパソコンをWIFIに接続 しLANケーブルのワイヤレス化を行うことで、固定式のパソコン が移動可能となり場所を選ばず記録業務が行えるようになる。 この整備を活用しオンライン面会や入居者の生活の様子をご家族 に伝えやすくする。 ○2年目：介護記録を更にタイムリー且つ簡潔に行えるよう、介護 記録ソフトと連動したタブレット端末（一部）を導入する。 ○3年目：ベッドセンサーを導入し、入居者のご利用者のタイムリ ーな状態把握を行う。		
導入により期待される効 果等	○導入後（翌年）1年目：介護記録を行う際、場所を選ばず記録が 可能となる。面会制限が続く中でも入居者のリアルタイムの状況を 伝えることができる。 ○2年目：介護記録がタイムリーに行うことが可能となり、記録時 間短縮を行うことができる。 ○3年目：新規入居の方や看取り期にある方を中心にベッドセンサ ーの活用を行い状態の把握が可能となる。		
効果検証の方法（効果に関 するデータを客観的な評 価指標に基づいて記録）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護記録や介護時間の短縮を検証する。（時間の比較）</li> <li>・介護に係る職員の精神的な負担軽減を検証する。（職員からのア ンケート調査）</li> <li>・入居者及びご家族からの満足度を検証する。（毎年実施している ご利用者・ご家族からの満足度調査項目に追加する）</li> </ul>		

## 2 補助事業計画書

事業者名	社会福祉法人正覚会		
事業所名	酒田市地域包括支援センターかわみなみ 【事業所番号：0600800056】	利用者数	—
介護サービスの種類	介護予防支援	職員数 (常勤換算)	5.68人
導入する製品名・機器名 導入時期及び台数	製品名：NECパソコン (PC-VKT16M3763N6) 台数：1台 製品名：キャノンモバイルプリンター (TR153) 台数：1台 製品名：TR153用バッテリーセット (LK-72) 台数：1台 導入時期：令和3年1月		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	購入		
事業概要 (現在の問題点・ 運用方法・職員との導入意 義の共有)	モバイルパソコン、WI-FIルーター、モバイルプリンターを導入し新規ケースや担当者会議で使用。保険証情報やケアプランの修正に速やかに対応できるようにする。訪問時間や訪問回数の削減に繋がる。加えて、酒田市のMCS (メディカルケアシステム) 等を活用したケアマネジメントが、ご利用者の居宅において実施できるようになる。職員はプランの変更が速やかに実施でき、保険証返却のための訪問など、非効率的な作業の軽減に繋がることに効果を期待している。		
導入により達成すべき目 標	○導入後 (翌年) 1年目：モバイルパソコン、WI-FIルーター、モバイルプリンターを1セット導入し新規ケースや担当者会議で使用。保険証情報取得、ケアプラン修正に速やかに対応できるようにする。 ○2年目：事業所全ての介護支援専門員が使いこなすことができるようになる。 ○3年目：モバイルパソコン、WI-FIルーター、モバイルプリンターを複数セット導入し、訪問先において、MCS (メディカルケアシステム) 等を活用したケアマネジメントを行う。		
導入により期待される効 果等	○導入後 (翌年) 1年目：モバイルPCの導入により訪問時間や回数の削減を検証することができる。 ○2年目：1年目の検証結果を踏まえ、事業所全体で訪問によるケアマネジメントの時間短縮が可能となる。 ○3年目：外部 (主治医、訪問看護等居宅サービス) とのMCSを活用したマネジメントにより、他職種連携をスムーズに行えるようになる。		

効果検証の方法(効果に関するデータを客観的な評価指標に基づいて記録)	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 支援記録や訪問時間の短縮を検証する。(時間の比較)</li><li>・ 短縮された時間の活用状況を検証する。(職員からのアンケート調査)</li><li>・ ご利用者及びご家族からの満足度を検証する。(ご利用者及びご家族からのアンケート調査)</li></ul>
------------------------------------	---

2 補助事業計画書

事業者名	社会福祉法人正覚会		
事業所名	ライフケア黒森指定居宅介護支援事業所 【事業所番号：0670800424】	利用者数	—
介護サービスの種類	居宅介護支援	職員数 (常勤換算)	5.75人
導入する製品名・機器名 導入時期及び台数	製品名：NECパソコン (PC-VKT16M3763N6) 台数：2台 製品名：キャノンモバイルプリンター (TR153) 台数：2台 製品名：TR153用バッテリーセット (LK-72) 台数：2台 導入時期：令和3年1月		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	購入		
事業概要 (現在の問題点・ 運用方法・職員との導入意 義の共有)	モバイルパソコン、WIFIルーター、モバイルプリンターを導入し新規ケースや担当者会議で使用。保険証情報やケアプランの修正に速やかに対応できるようにする。訪問時間や訪問回数の削減に繋がる。加えて、酒田市のMCS (メディカルケアシステム) 等を活用したケアマネジメントが、ご利用者の居宅において実施できるようになる。職員はプランの変更が速やかに実施でき、保険証返却のための訪問など、非効率的な作業の軽減に繋がることに効果を期待している。		
導入により達成すべき目 標	○導入後 (翌年) 1年目：モバイルパソコン、WIFIルーター、モバイルプリンターを2セット導入し新規ケースや担当者会議で使用。保険証情報取得、ケアプラン修正に速やかに対応できるようにする。(2セットの根拠：年間新規、担当者会議数が1.42件/日であるため) ○2年目：事業所全ての介護支援専門員が使いこなすことができるようになる。 ○3年目：モバイルパソコン、WIFIルーター、モバイルプリンターを複数セット導入し、訪問先において、MCS (メディカルケアシステム) 等を活用したケアマネジメントを行う。		
導入により期待される効 果等	○導入後 (翌年) 1年目：モバイルPCの導入により訪問時間や回数の削減を検証することができる。 ○2年目：1年目の検証結果を踏まえ、事業所全体で訪問によるケアマネジメントの時間短縮が可能となる。 ○3年目：外部 (主治医、訪問看護等居宅サービス) とのMCSを活用したマネジメントにより、他職種連携をスムーズに行えるようになる。		

効果検証の方法(効果に関するデータを客観的な評価指標に基づいて記録)	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 支援記録や訪問時間の短縮を検証する。(時間の比較)</li><li>・ 短縮された時間の活用状況を検証する。(職員からのアンケート調査)</li><li>・ ご利用者及びご家族からの満足度を検証する。(毎年実施しているご利用者・ご家族からの満足度調査項目に追加する)</li></ul>
------------------------------------	---

## 2 補助事業計画書

事業者名	社会福祉法人正覚会		
事業所名	特別養護老人ホームライフケア黒森 【事業所番号：0670800408】短期入所 生活介護事業所併設	利用者数	80人
介護サービスの種類	介護老人福祉施設	職員数 (常勤換算)	45.7人
導入する製品名・機器名 導入時期及び台数	製品名：エレコム無線アクセスポイント（WAB-I1750-PS） 台数：20台 製品名：バッファローPOEスイッチ（BS-GS2008P） 台数5台 製品名：バッファロースイッチ（BS-2008） 台数：2台 製品名：ヤマハギガアクセスVPNルーター（RTX1210） 台数：1台 導入時期：令和3年1月		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	購入		
事業概要（現在の問題点・ 運用方法・職員との導入意 義の共有）	事業所内のインターネット環境を有線式から無線式に変更する工 事を行うことで、介護職員は、場所を選ばず記録作業を行うことが できる。3年間の事業計画中に、介護ソフトと連動が図れるタブレ ットを導入し、記録作業に加え入所者のケアプランや日課の確認を 行いながらケアができる環境を整える。また、ベッドセンサーを導入 し、入居者の健康状態把握や転倒などの介護事故防止を図る。職 員は、業務の軽減や介護事故防止の取り組みが進み精神的にも負担 の軽減に繋がることに期待している。		
導入により達成すべき目 標	○導入後（翌年）1年目：館内全てのパソコンをWIFIに接続 しLANケーブルのワイヤレス化を行うことで、固定式のパソコンが 移動可能となり場所を選ばず記録業務が行えるようになる。嘱託医 とタイムリーな画像やデータのやり取りも実施可能となる。この整 備を活用しオンライン面会や入居者の生活の様子をご家族に伝えやす くなる。 ○2年目：介護記録を更にタイムリー且つ簡潔に行えるよう、介護 記録ソフトと連動したタブレット端末（一部）を導入する。 ○3年目：ベッドセンサーを導入し、入居者のタイムリーな状態把 握を行う。		
導入により期待される効 果等	○導入後（翌年）1年目：介護記録を行う際、場所を選ばず記録が 可能となる。看護師から嘱託医への連絡をタイムリーに行えるよう になる。（病状を伝えるだけでなく画像で様子を伝えられるような 効果も期待している）面会制限が続く中でも入居者のリアルタイム な状況を伝えることができる。 ○2年目：介護記録がタイムリーに行うことが可能となり、記録時 間短縮を行うことができる。		

	<p>○3年目:新規入居の方や看取り期にある方を中心にベッドセンサーの活用を行い状態の把握が可能となる。また短期入所生活介護をご利用の方は、居宅と施設を行き来することから不眠や夜間帯の不穏が見られることが多いため、それらの状態把握に活用できる。</p>
<p>効果検証の方法(効果に関するデータを客観的な評価指標に基づいて記録)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護記録や介護時間の短縮を検証する。(時間の比較)</li> <li>・介護に係る職員の精神的な負担軽減を検証する。(職員からのアンケート調査)</li> <li>・入居者及びご家族からの満足度を検証する。(毎年実施しているご利用者・ご家族からの満足度調査項目に追加する)</li> </ul>

## 2 補助事業計画書

事業者名	社会福祉法人正覚会		
事業所名	ライフケア黒森指定短期入所生活介護事業所 【事業所番号：0670800499】（特養に併設）	利用者数	16人
介護サービスの種類	短期入所生活介護事業所	職員数 （常勤換算）	8.43人
導入する製品名・機器名 導入時期及び台数	製品名：エレコム無線アクセスポイント（WAB-I1750-PS） 台数：20台 製品名：バッファローPOEスイッチ（BS-GS2008P） 台数5台 製品名：バッファロースイッチ（BS-2008） 台数：2台 製品名：ヤマハギガアクセスVPNルーター（RTX1210） 台数：1台 導入時期：令和3年1月		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	購入		
事業概要（現在の問題点・運用方法・職員との導入意義の共有）	事業所内のインターネット環境を有線式から無線式に変更する工事を行うことで、介護職員は、場所を選ばず記録作業を行うことができる。3年間の事業計画中に、介護ソフトと連動が図れるタブレットを導入し、記録作業に加え入所者のケアプランや日課の確認を行いながらケアができる環境を整える。また、ベッドセンサーを導入し、入居者の健康状態把握や転倒などの介護事故防止を図る。職員は、業務の軽減や介護事故防止の取り組みが進み精神的にも負担の軽減に繋がることに期待している。		
導入により達成すべき目標	○導入後（翌年）1年目：館内全てのパソコンをWIFIに接続しLANケーブルのワイヤレス化を行うことで、固定式のパソコンが移動可能となり場所を選ばず記録業務が行えるようになる。この整備を活用しオンライン面会や入居者の生活の様子をご家族に伝えやすくする。 ○2年目：介護記録を更にタイムリー且つ簡潔に行えるよう、介護記録ソフトと連動したタブレット端末（一部）を導入する。 ○3年目：ベッドセンサーを導入し、入居者のタイムリーな状態把握を行う。		
導入により期待される効果等	○導入後（翌年）1年目：介護記録を行う際、場所を選ばず記録が可能となる。看護師から嘱託医への連絡をタイムリーに行えるようになる。（病状を伝えるだけでなく画像で様子を伝えられるような効果も期待している）面会制限が続く中でも入居者のリアルタイムな状況を伝えることができる。 ○2年目：介護記録がタイムリーに行うことが可能となり、記録時間短縮を行うことができる。 ○3年目：新規入居の方や看取り期にある方を中心にベッドセンサ		

	<p>一の活用を行い状態の把握が可能となる。また短期入所生活介護をご利用の方は、居宅と施設を行き来することから不眠や夜間帯の不穏が見られることが多いため、それらの状態把握に活用できる。</p>
<p>効果検証の方法(効果に関するデータを客観的な評価指標に基づいて記録)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護記録や介護時間の短縮を検証する。(時間の比較)</li> <li>・介護に係る職員の精神的な負担軽減を検証する。(職員からのアンケート調査)</li> <li>・入居者及びご家族からの満足度を検証する。(毎年実施しているご利用者・ご家族からの満足度調査項目に追加する)</li> </ul>

## 2 補助事業計画書

事業者名	社会福祉法人正覚会		
事業所名	小規模特別養護老人ホームライフケア黒森 【事業所番号：0690800289】	利用者数	29人
介護サービスの種類	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護 短期入所生活介護併設	職員数 (常勤換算)	21.75人
導入する製品名・機器名 導入時期及び台数	製品名：エレコム無線アクセスポイント (WAB-I1750-PS) 台数：4台 製品名：バッファローPOEスイッチ (BS-GS2008P) 台数1台 導入時期：令和3年1月		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	購入		
事業概要 (現在の問題点・ 運用方法・職員との導入意 義の共有)	事業所内のインターネット環境を有線式から無線式に変更する工事を行うことで、介護職員は、場所を選ばず記録作業を行うことができる。3年間の事業計画中に、介護ソフトと連動が図れるタブレットを導入し、記録作業に加え入所者のケアプランや日課の確認を行いながらケアができる環境を整える。また、ベッドセンサーを導入し、入居者の健康状態把握や転倒などの介護事故防止を図る。職員は、業務の軽減や介護事故防止の取り組みが進み精神的にも負担の軽減に繋がることに期待している。		
導入により達成すべき目 標	○導入後 (翌年) 1年目：館内全てのパソコンをWIFIに接続しLANケーブルのワイヤレス化を行うことで、固定式のパソコンが移動可能となり場所を選ばず記録業務が行えるようになる。嘱託医とタイムリーな画像やデータのやり取りも実施可能となる。この整備を活用しオンライン面会や入居者の生活の様子をご家族に伝えやすくする。 ○2年目：介護記録を更にタイムリー且つ簡潔に行えるよう、介護記録ソフトと連動したタブレット端末 (一部) を導入する。 ○3年目：ベッドセンサーを導入し、入居者のタイムリーな状態把握を行う。		
導入により期待される効 果等	○導入後 (翌年) 1年目：介護記録を行う際、場所を選ばず記録が可能となる。看護師から嘱託医への連絡をタイムリーに行えるようになる。(病状を伝えるだけでなく画像で様子を伝えられるような効果も期待している) 面会制限が続く中でも入居者のリアルタイムな状況を伝えることができる。 ○2年目：介護記録がタイムリーに行うことが可能となり、記録時間短縮を行うことができる。 ○3年目：新規入居の方や看取り期にある方を中心にベッドセンサーの活用を行い状態の把握が可能となる。また短期入所生活介護をご利用の方は、居宅と施設を行き来することから不眠や夜間帯の不穏が見られることが多いため、それらの状態把握に活用できる。		

効果検証の方法(効果に関するデータを客観的な評価指標に基づいて記録)	<ul style="list-style-type: none"><li>・介護記録や介護時間の短縮を検証する。(時間の比較)</li><li>・介護に係る職員の精神的な負担軽減を検証する。(職員からのアンケート調査)</li><li>・入居者及びご家族からの満足度を検証する。(毎年実施しているご利用者・ご家族からの満足度調査項目に追加する)</li></ul>
------------------------------------	---

## 2 補助事業計画書

事業者名	社会福祉法人正覚会		
事業所名	ライフケア黒森指定ユニット型短期入所生活介護事業所 【事業所番号：0670801752】特養併設	利用者数	3人
介護サービスの種類	短期入所生活介護	職員数 (常勤換算)	2.25人
導入する製品名・機器名 導入時期及び台数	製品名：エレコム無線アクセスポイント (WAB-I 1750-PS) 台数：4台 製品名：バッファローPOEスイッチ (BS-GS2008P) 台数1台 導入時期：令和3年1月		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	購入		
事業概要 (現在の問題点・ 運用方法・職員との導入意 義の共有)	事業所内のインターネット環境を有線式から無線式に変更する工 事を行うことで、介護職員は、場所を選ばず記録作業を行うことが できる。3年間の事業計画中に、介護ソフトと連動が図れるタブレ ットを導入し、記録作業に加え入所者のケアプランや日課の確認を 行いながらケアができる環境を整える。また、ベッドセンサーを導入 し、入居者の健康状態把握や転倒などの介護事故防止を図る。職員 は、業務の軽減や介護事故防止の取り組みが進み精神的にも負担 の軽減に繋がることに期待している。		
導入により達成すべき目 標	○導入後 (翌年) 1年目：館内全てのパソコンをWIFIに接続 しLANケーブルのワイヤレス化を行うことで、固定式のパソコンが 移動可能となり場所を選ばず記録業務が行えるようになる。この整 備を活用しオンライン面会や入居者の生活の様子をご家族に伝えやす くする。 ○2年目：介護記録を更にタイムリー且つ簡潔に行えるよう、介護 記録ソフトと連動したタブレット端末 (一部) を導入する。 ○3年目：ベッドセンサーを導入し、入居者のタイムリーな状態把 握を行う。		
導入により期待される効 果等	○導入後 (翌年) 1年目：介護記録を行う際、場所を選ばず記録が 可能となる。看護師から嘱託医への連絡をタイムリーに行えるよ うになる。(病状を伝えるだけでなく画像で様子を伝えられるような 効果も期待している) 面会制限が続く中でも入居者のリアルタイム な状況を伝えることができる。 ○2年目：介護記録がタイムリーに行うことが可能となり、記録時 間短縮を行うことができる。 ○3年目：新規入居の方や看取り期にある方を中心にベッドセンサ ーの活用を行い状態の把握が可能となる。また短期入所生活介護を ご利用の方は、居宅と施設を行き来することから不眠や夜間帯の不 穏が見られることが多いため、それらの状態把握に活用できる。		

効果検証の方法(効果に関するデータを客観的な評価指標に基づいて記録)	<ul style="list-style-type: none"><li>・介護記録や介護時間の短縮を検証する。(時間の比較)</li><li>・介護に係る職員の精神的な負担軽減を検証する。(職員からのアンケート調査)</li><li>・入居者及びご家族からの満足度を検証する。(毎年実施しているご利用者・ご家族からの満足度調査項目に追加する)</li></ul>
------------------------------------	---

## 2 補助事業計画書

事業者名	社会福祉法人思恩会		
事業所名	鶴岡西地域包括支援センター 【事業所番号：0600700058】	利用者数	
介護サービスの種類	指定介護予防支援	職員数 (常勤換算)	3.0
導入する製品名・機器名 導入時期及び台数	ND ソフトウェア(株) NEXT ほのぼの 一式購入 令和2年12月導入予定		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="radio"/> 購入 <input type="radio"/> リース (契約期間 年 月～ 年 月)		
事業概要 (現在の問題点・ 運用方法・職員との導入意 義の共有)	相談支援記録業務及びケアプラン作成業務の効率化を図るため、複数社のデモの中から選定メンバーにより決定。タブレット・音声入力システムを導入(地域包括支援センターは未導入であるが導入する他事業所の効果により検討)する他、月報の集計作業にも対応する。CHASE 連携も可能なソフトであり、科学的な分析に基づいたケアを行いたい。また、職員に個別 ID を設け、権限に応じた操作範囲の設定によりセキュリティ面も強化する。		
導入により達成すべき目 標	○導入後(翌年)1年目 相談支援記録時間の削減 支援・相談業務を強化 ○2年目 アセスメント・モニタリング・エバリュエーションの効果を上げる ○3年目 安定した施設運営		
導入により期待される効 果等	○導入後(翌年)1年目 職員の記録業務の負担軽減 利用者の満足度の上昇 ○2年目 相談支援の強化 ○3年目 財務状況の改善による適正な運営		
効果検証の方法(効果に関 するデータを客観的な評 価指標に基づいて記録)	相談支援記録時間の短縮、利用者の満足度の上昇、財務分析		

## 2 補助事業計画書

事業者名	社会福祉法人思恩会		
事業所名	多機能かも 【事業所番号：0690700240】	利用者数	25
介護サービスの種類	(介護予防) 小規模多機能型居宅介護	職員数 (常勤換算)	10.7 <sup>四捨五入</sup> = 11人
導入する製品名・機器名 導入時期及び台数	ND ソフトウェア(株) NEXT ほのぼの 一式購入 令和2年12月導入予定		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="radio"/> 購入 <input type="radio"/> リース (契約期間 年 月～ 年 月)		
事業概要 (現在の問題点・ 運用方法・職員との導入意 義の共有)	介護記録の効率化を図るため、複数社のデモの中から選定メンバーにより決定。タブレット・音声入力システムを導入 (多機能かもは未導入であるが導入する他事業所の効果により検討) する他、ケアプラン等の作成では Office ソフトで管理していた文書を NEXT ほのぼのに組み込み一元的に管理する。CHASE 連携も可能なソフトであり、科学的な分析に基づいたケアを行いたい。また、職員に個別 ID を設け、権限に応じた操作範囲の設定によりセキュリティ面も強化する。		
導入により達成すべき目 標	○導入後 (翌年) 1 年目 支援記録時間の削減 直接援助の時間を強化 ○2 年目 ヒヤリハット・事故のリスク分析 アセスメント・モニタリング・エバリュエーションの効果を上げる ○3 年目 適正な職員配置 安定した施設運営		
導入により期待される効 果等	○導入後 (翌年) 1 年目 職員の記録業務の負担軽減 利用者の満足度の上昇 ○2 年目 ヒヤリハット・事故の削減 自立支援の強化 ○3 年目 財務状況の改善による適正な運営		
効果検証の方法 (効果に関 するデータを客観的な評 価指標に基づいて記録)	ケア記録時間の短縮、事故防止分析強化とヒヤリハット・事故の削減、行事などの実施、財務分析		

## 2 補助事業計画書

事業者名	社会福祉法人思恩会		
事業所名	多機能ゆのはま 【事業所番号：0690700075】	利用者数	24
介護サービスの種類	(介護予防) 小規模多機能型居宅介護	職員数 (常勤換算)	10.7 <sup>10/85人</sup> = 11人
導入する製品名・機器名 導入時期及び台数	ND ソフトウェア(株) NEXT ほのぼの 一式購入 令和2年12月導入予定		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	○購入 リース (契約期間 年 月～ 年 月)		
事業概要 (現在の問題点・ 運用方法・職員との導入意義の共有)	介護記録の効率化を図るため、複数社のデモの中から選定メンバーにより決定。タブレット・音声入力システムを導入 (多機能ゆのはまは未導入であるが導入する他事業所の効果により検討) する他、ケアプラン等の作成では Office ソフトで管理していた文書を NEXT ほのぼのに組み込み一元的に管理する。CHASE 連携も可能なソフトであり、科学的な分析に基づいたケアを行いたい。また、職員に個別 ID を設け、権限に応じた操作範囲の設定によりセキュリティ面も強化する。		
導入により達成すべき目標	○導入後 (翌年) 1 年目 支援記録時間の削減 直接援助の時間を強化 ○2 年目 ヒヤリハット・事故のリスク分析 アセスメント・モニタリング・エバリュエーションの効果を上げる ○3 年目 適正な職員配置 安定した施設運営		
導入により期待される効果等	○導入後 (翌年) 1 年目 職員の記録業務の負担軽減 利用者の満足度の上昇 ○2 年目 ヒヤリハット・事故の削減 自立支援の強化 ○3 年目 財務状況の改善による適正な運営		
効果検証の方法 (効果に関するデータを客観的な評価指標に基づいて記録)	ケア記録時間の短縮、事故防止分析強化とヒヤリハット・事故の削減、行事などの実施、財務分析		

## 2 補助事業計画書

事業者名	社会福祉法人思恩会		
事業所名	しおん荘居宅介護支援事業所 【事業所番号：0670700095】	利用者数	
介護サービスの種類	指定居宅介護支援	職員数 (常勤換算)	4.0
導入する製品名・機器名 導入時期及び台数	ND ソフトウェア(株) NEXT ほのぼの 一式購入 令和2年12月導入予定		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="radio"/> 購入 リース (契約期間 年 月～ 年 月)		
事業概要 (現在の問題点・ 運用方法・職員との導入意 義の共有)	介護記録の効率化を図るため、複数社のデモの中から選定メンバーにより決定。タブレット・音声入力システムを導入 (居宅介護支援事業所は未導入であるが導入する他事業所の効果により検討) する他、ケアプラン等の作成では Office ソフトで管理していた文書を NEXT ほのぼのに組み込み一元的に管理する。CHASE 連携も可能なソフトであり、科学的な分析に基づいたケアを行いたい。また、職員に個別 ID を設け、権限に応じた操作範囲の設定によりセキュリティ面も強化する。		
導入により達成すべき目 標	○導入後 (翌年) 1 年目 支援記録時間の削減 支援・相談業務を強化 ○2 年目 アセスメント・モニタリング・エバリュエーションの効果を上げる ○3 年目 安定した施設運営		
導入により期待される効 果等	○導入後 (翌年) 1 年目 職員の記録業務の負担軽減 利用者の満足度の上昇 ○2 年目 相談業務の強化 ○3 年目 財務状況の改善による適正な運営		
効果検証の方法 (効果に関 するデータを客観的な評 価指標に基づいて記録)	支援記録時間の短縮、利用者の満足度の上昇、財務分析		

## 3 事業・導入スケジュール

## 2 補助事業計画書

事業者名	社会福祉法人思恩会		
事業所名	しおん荘ホームヘルパーセンター 【事業所番号：0670700293】	利用者数	
介護サービスの種類	指定訪問介護 訪問型サービス	職員数 (常勤換算)	2.0
導入する製品名・機器名 導入時期及び台数	ND ソフトウェア(株) NEXT ほのぼの 一式購入 令和2年12月導入予定		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	○購入 リース (契約期間 年 月～ 年 月)		
事業概要 (現在の問題点・ 運用方法・職員との導入意 義の共有)	介護記録の効率化を図るため、複数社のデモの中から選定メンバーにより決定。タブレット・音声入力システムを導入 (ヘルパーセンターは未導入であるが導入する他事業所の効果により検討) する他、ケアプラン等の作成では Office ソフトで管理していた文書を NEXT ほのぼのに組み込み一元的に管理する。CHASE 連携も可能なソフトであり、科学的な分析に基づいたケアを行いたい。また、職員に個別 ID を設け、権限に応じた操作範囲の設定によりセキュリティ面も強化する。		
導入により達成すべき目 標	○導入後 (翌年) 1 年目 記録時間の削減 直接援助の時間を強化 ヘルパー派遣計画作成時間の削減 ○2 年目 ヒヤリハット・事故のリスク分析 アセスメント・モニタリング・エバリュエーションの効果を上げる ○3 年目 適正な職員配置 安定した施設運営		
導入により期待される効 果等	○導入後 (翌年) 1 年目 職員の記録業務の負担軽減 間接業務を削減し直接業務の時間を強化 ○2 年目 ヒヤリハット・事故の削減 自立支援の強化 ○3 年目 財務状況の改善による適正な運営		
効果検証の方法 (効果に関 するデータを客観的な評 価指標に基づいて記録)	ケア記録時間の短縮、間接業務の削減、財務分析		

## 2 補助事業計画書

事業者名	社会福祉法人思恩会		
事業所名	湯野浜思恩園ホームヘルパーセンター 【事業所番号：0670701036】	利用者数	
介護サービスの種類	指定訪問介護 訪問型サービス	職員数 (常勤換算)	5.0
導入する製品名・機器名 導入時期及び台数	ND ソフトウェア(株) NEXT ほのぼの 一式購入 令和2年12月導入予定		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	○購入 リース (契約期間 年 月～ 年 月)		
事業概要 (現在の問題点・ 運用方法・職員との導入意 義の共有)	介護記録の効率化を図るため、複数社のデモの中から選定メンバーにより決定。タブレット・音声入力システムを導入 (ヘルパーセンターは未導入であるが導入する他事業所の効果により検討) する他、ケアプラン等の作成では Office ソフトで管理していた文書を NEXT ほのぼのに組み込み一元的に管理する。CHASE 連携も可能なソフトであり、科学的な分析に基づいたケアを行いたい。また、職員に個別 ID を設け、権限に応じた操作範囲の設定によりセキュリティ面も強化する。		
導入により達成すべき目 標	○導入後 (翌年) 1 年目 記録時間の削減 直接援助の時間を強化 ヘルパー派遣計画作成時間の削減 ○2 年目 ヒヤリハット・事故のリスク分析 アセスメント・モニタリング・エバリュエーションの効果を上げる ○3 年目 適正な職員配置 安定した施設運営		
導入により期待される効 果等	○導入後 (翌年) 1 年目 職員の記録業務の負担軽減 間接業務を削減し直接業務の時間を強化 ○2 年目 ヒヤリハット・事故の削減 自立支援の強化 ○3 年目 財務状況の改善による適正な運営		
効果検証の方法 (効果に関 するデータを客観的な評 価指標に基づいて記録)	ケア記録時間の短縮、間接業務の削減、財務分析		

## 2 補助事業計画書

事業者名	社会福祉法人思恩会		
事業所名	湯野浜思恩園特定施設 【事業所番号：0670701051】	利用者数	50
介護サービスの種類	(介護予防) 特定施設入居者生活介護	職員数 (常勤換算)	5.0
導入する製品名・機器名 導入時期及び台数	ND ソフトウェア(株) NEXT ほのぼの 一式購入 令和2年12月導入予定		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="radio"/> 購入 リース (契約期間 年 月～ 年 月)		
事業概要 (現在の問題点・ 運用方法・職員との導入意 義の共有)	介護記録の効率化を図るため、複数社のデモの中から選定メンバーにより決定。タブレット・音声入力システムを導入する他、ケアプラン等の作成では Office ソフトで管理していた文書を NEXT ほのぼのに組み込み一元的に管理する。CHASE 連携も可能なソフトであり、科学的な分析に基づいたケアを行いたい。また、職員に個別 ID を設け、権限に応じた操作範囲の設定によりセキュリティ面も強化する。		
導入により達成すべき目 標	○導入後 (翌年) 1 年目 記録時間・ケアプラン作成時間の削減 直接援助の時間を強化 ○2 年目 ヒヤリハット・事故のリスク分析 アセスメント・モニタリング・エバリュエーションの効果を上げる ○3 年目 適正な職員配置 安定した施設運営		
導入により期待される効 果等	○導入後 (翌年) 1 年目 職員の記録業務・ケアプラン作成業務の負担軽減 利用者の満足度の上昇 ○2 年目 ヒヤリハット・事故の削減 自立支援の強化 ○3 年目 財務状況の改善による適正な運営		
効果検証の方法 (効果に関 するデータを客観的な評 価指標に基づいて記録)	ケア記録時間の短縮、自己分析強化とヒヤリハット・事故の削減、クラブ活動・行事などの実施、入居者の満足度の上昇、財務分析		

## 2 補助事業計画書

事業者名	社会福祉法人思恩会		
事業所名	しおん荘ショートステイセンター 【事業所番号：0670700301】	利用者数	11
介護サービスの種類	指定（介護予防）短期入所生活介護	職員数 (常勤換算)	5.9
導入する製品名・機器名 導入時期及び台数	ND ソフトウェア(株) NEXT ほのぼの 一式購入 令和2年12月導入予定		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	○購入 リース (契約期間 年 月～ 年 月)		
事業概要 (現在の問題点・ 運用方法・職員との導入意 義の共有)	介護記録の効率化を図るため、複数社のデモの中から選定メンバーにより決定。タブレット・音声入力システムを導入する他、ケアプラン等の作成では Office ソフトで管理していた文書を NEXT ほのぼのに組み込み一元的に管理する。CHASE 連携も可能なソフトであり、科学的な分析に基づいたケアを行いたい。また、職員に個別 ID を設け、権限に応じた操作範囲の設定によりセキュリティ面も強化する。		
導入により達成すべき目 標	○導入後（翌年）1年目 記録時間の削減 直接援助の時間を強化 ○2年目 ヒヤリハット・事故のリスク分析 アセスメント・モニタリング・エバリュエーションの効果を上げる ○3年目 適正な職員配置 安定した施設運営		
導入により期待される効 果等	○導入後（翌年）1年目 職員の記録業務の負担軽減 利用者の満足度の上昇 ○2年目 ヒヤリハット・事故の削減 自立支援の強化 ○3年目 財務状況の改善による適正な運営		
効果検証の方法 (効果に関 するデータを客観的な評 価指標に基づいて記録)	ケア記録時間の短縮、事故防止委員会による分析強化とヒヤリハット・事故の削減、クラブ活動・行事などの実施、財務分析		

## 2 補助事業計画書

事業者名	社会福祉法人思恩会		
事業所名	特別養護老人ホームしおん荘 【事業所番号：0670700384】	利用者数	80
介護サービスの種類	指定介護老人福祉施設	職員数 (常勤換算)	54.5
導入する製品名・機器名 導入時期及び台数	ND ソフトウェア(株) NEXT ほのぼの 一式購入 令和2年12月導入予定		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	○購入 リース (契約期間 年 月～ 年 月)		
事業概要 (現在の問題点・ 運用方法・職員との導入意 義の共有)	介護記録の効率化を図るため、複数社のデモの中から選定メンバーにより決定。タブレット・音声入力システムを導入する他、ケアプラン等の作成では Office ソフトで管理していた文書を NEXT ほのぼのに組み込み一元的に管理する。CHASE 連携も可能なソフトであり、科学的な分析に基づいたケアを行いたい。また、職員に個別 ID を設け、権限に応じた操作範囲の設定によりセキュリティ面も強化する。		
導入により達成すべき目 標	○導入後 (翌年) 1 年目 記録時間の削減 直接援助の時間を強化 ○2 年目 ヒヤリハット・事故のリスク分析 アセスメント・モニタリング・エバリュエーションの効果を上げる ○3 年目 適正な職員配置 安定した施設運営		
導入により期待される効 果等	○導入後 (翌年) 1 年目 職員の記録業務の負担軽減 利用者の満足度の上昇 ○2 年目 ヒヤリハット・事故の削減 自立支援の強化 ○3 年目 財務状況の改善による適正な運営		
効果検証の方法 (効果に関 するデータを客観的な評 価指標に基づいて記録)	ケア記録時間の短縮、事故防止委員会による分析強化とヒヤリハット・事故の削減、クラブ活動・行事などの実施、財務分析		

## 3 事業・導入スケジュール

## 2 補助事業計画書

事業者名	社会福祉法人 酒田市社会福祉協議会		
事業所名	酒田市社会福祉協議会 【事業所番号：0670800150】	利用者数	86名
介護サービスの種類	訪問介護事業所	職員数 (常勤換算)	13.6名
導入する製品名・機器名 導入時期及び台数	・すごろく Home 一式 (ライセンスフリー) 購入 令和2年12月導入予定		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="checkbox"/> 購入・リース (契約期間 年 月～ 年 月)		
事業概要 (現在の問題点・ 運用方法・職員との導入意 義の共有)	<p>【現在の問題点】得た情報をシステム入力する業務について負担が多く時間がかかる。職員に PC 操作技術が求められる。</p> <p>【運用方法】タブレットを携帯し外出先で情報を確認し、業務を実施。すき間時間を利用し情報、実績を音声入力で記録する。</p> <p>【職員との導入意義の共有】ICT リテラシーを予防、ICT 活用から業務改善を図る。具体的には、法定書類等の記録業務等の短縮化を図り、働き方改革、及び利用者への支援業務へ注力できる。</p>		
導入により達成すべき目 標	<p>○導入後 (翌年) 1年目</p> <p>・タブレット操作方法の習得。システムの活用方法の研修、情報共有。</p> <p>○2年目</p> <p>・音声入力への移行を図り、入力業務時間の更なる圧縮。多職種連携に ICT 活用を検討。事業所内の情報をオンラインにより共有し業務改善を図る。多職種との連携にリモート会議導入を検討。多職種からの情報を支援業務に活用する。</p> <p>○3年目</p> <p>・オンラインによる情報共有、記録業務の音声移行を完了。ICT を活用し多職種連携を実施。</p>		
導入により期待される効 果等	<p>○導入後 (翌年) 1年目</p> <p>・入力業務時間の圧縮。働き方改革により残業時間の短縮。間接業務 (事務記録) から直接業務 (利用者対応) する。</p> <p>○2年目</p> <p>・入力業務時間の更なる圧縮。直接業務へ注力する。多職種からの情報を支援業務に活用し自立支援を図る。</p> <p>○3年目</p> <p>多職種連携の情報をエビデンスとして利用者へのサービス提供を実施し地域ネットワーク構築、自立支援に資する支援業務を図る</p>		
効果検証の方法 (効果に関 するデータを客観的な評 価指標に基づいて記録)	システム導入前、後に入力業務、相談業務、研修、労務管理の時間を記録。利用者へ相談業務に対して満足度のアンケートを実施。職員に対してヒアリング、アンケートを実施。これらのデータをもとにシステム導入の効果を検証する。		

## 2 補助事業計画書

事業者名	株式会社スマートライフ		
事業所名	【0670401843】スマート倶楽部	利用者数	186人
介護サービスの種類	通所介護	職員数 (常勤換算)	18人
導入する製品名・機器名 導入時期及び台数	株式会社NDソフトウェア ほのぼのNEXT 令和3年3月 一式導入		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	○購入・リース (契約期間 年 月～ 年 月)		
事業概要 (現在の問題点・運用方法・職員との導入意義の共有)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通所介護での記録業務を手書きで行っているため転記が複数回発生し、ケアに入る時間を圧迫している</li> <li>・バイタル等が紙ベースで管理されているため、複数事業所の利用者のデータを横断的に参照できない</li> </ul>		
導入により達成すべき目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○導入後 (翌年) 1年目 <ul style="list-style-type: none"> <li>・記録業務から転記がなくなっている</li> </ul> </li> <li>○2年目 <ul style="list-style-type: none"> <li>・記録業務にかける時間を減らす</li> </ul> </li> <li>○3年目 <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所間でのデータの共有がシステム上でできている</li> </ul> </li> </ul>		
導入により期待される効果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○導入後 (翌年) 1年目 <ul style="list-style-type: none"> <li>・記録業務にかかる時間が減少している</li> </ul> </li> <li>○2年目 <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護業務にあたる時間が増えている</li> </ul> </li> <li>○3年目 <ul style="list-style-type: none"> <li>・複数事業所のデータを基にしたケアを実施している</li> </ul> </li> </ul>		
効果検証の方法 (効果に関するデータを客観的な評価指標に基づいて記録)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・記録業務にかかる作業時間を計測する</li> <li>・従事者にアンケートを行い、業務改善を実感しているか、もっと改善すべきところはないか確認する</li> </ul>		

## 2 補助事業計画書

事業者名	株式会社スマートライフ		
事業所名	【0670401892】スマートライフ訪問介護事業所	利用者数	27人
介護サービスの種類	訪問介護	職員数 (常勤換算)	5人
導入する製品名・機器名 導入時期及び台数	株式会社NDソフトウェア ほのぼのNEXT 令和3年3月 一式導入		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	○購入・リース (契約期間 年 月～ 年 月)		
事業概要 (現在の問題点・運用方法・職員との導入意義の共有)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提供票を紙ベースで処理している</li> <li>・実績のシステムへの入力作業に時間がかかっている</li> <li>・バイタル等が紙ベースで管理されているため、複数事業所の利用者のデータを横断的に参照できない</li> </ul>		
導入により達成すべき目標	<input type="radio"/> 導入後 (翌年) 1年目 <ul style="list-style-type: none"> <li>・従事者がすぐに実績入力できるようになっている</li> </ul> <input type="radio"/> 2年目 <ul style="list-style-type: none"> <li>・社内外の事業所と提供票を電子データでやりとりしている</li> </ul> <input type="radio"/> 3年目 <ul style="list-style-type: none"> <li>・複数事業所の利用者データが集約されている</li> </ul>		
導入により期待される効果等	<input type="radio"/> 導入後 (翌年) 1年目 <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務作業の偏りが是正されている</li> </ul> <input type="radio"/> 2年目 <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務作業及び印刷や配布にかかる時間が削減されている</li> </ul> <input type="radio"/> 3年目 <ul style="list-style-type: none"> <li>・複数事業所のデータを基にしたケアを実施している</li> </ul>		
効果検証の方法 (効果に関するデータを客観的な評価指標に基づいて記録)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務作業の時間を計測する</li> <li>・従事者にアンケートを行い、業務改善を実感しているか、もっと改善すべきところはないか確認する</li> </ul>		

## 2 補助事業計画書

事業者名	株式会社スマートライフ		
事業所名	【0670401801】スマートライフかいごの窓口	利用者数	56人
介護サービスの種類	居宅介護支援事業所	職員数 (常勤換算)	2人
導入する製品名・機器名 導入時期及び台数	株式会社NDソフトウェア ほのぼのNEXT 令和3年3月 一式導入		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="radio"/> 購入・リース (契約期間 年 月～ 年 月)		
事業概要 (現在の問題点・運用方法・職員との導入意義の共有)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社内外の事業所に提供票を紙で配布している</li> <li>・バイタル等が紙ベースで管理されているため、複数事業所の利用者のデータを横断的に参照できない</li> </ul>		
導入により達成すべき目標	<input type="radio"/> 導入後 (翌年) 1年目 <ul style="list-style-type: none"> <li>・社内の他事業所と提供票を電子データでやりとりしている</li> </ul> <input type="radio"/> 2年目 <ul style="list-style-type: none"> <li>・社外の他事業所と提供票を電子データでやりとりしている</li> </ul> <input type="radio"/> 3年目 <ul style="list-style-type: none"> <li>・紙ベースの資料が可能な限り電子化されている</li> </ul>		
導入により期待される効果等	<input type="radio"/> 導入後 (翌年) 1年目 <ul style="list-style-type: none"> <li>・提供票の印刷や配布にかかる時間、用紙の利用量の削減</li> </ul> <input type="radio"/> 2年目 <ul style="list-style-type: none"> <li>・提供票の印刷や配布にかかる時間、用紙の利用量の削減</li> </ul> <input type="radio"/> 3年目 <ul style="list-style-type: none"> <li>・テレワークに対応可能な状態となっている</li> </ul>		
効果検証の方法 (効果に関するデータを客観的な評価指標に基づいて記録)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・従事者にアンケートを行い、業務改善を実感しているか、もっと改善すべきところはないか確認する</li> </ul>		

## 2 補助事業計画書

事業者名	オーリンク株式会社		
事業所名	グループホームあさひ 【事業所番号：0672300431】	利用者数	18名
介護サービスの種類	(介護予防)認知症対応型共同生活介護	職員数 (常勤換算)	14.3
導入する製品名・機器名 導入時期及び台数	内田洋行製 絆 Core 一式購入 令和2年12月導入予定		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="radio"/> 購入 リース (契約期間 年 月～ 年 月)		
事業概要 (現在の問題点・ 運用方法・職員との導入意 義の共有)	<p>介護現場にて介護記録データの登録・閲覧を可能にし、情報共有の効率化とサービスの向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・記載事項のテンプレート活用や一括入力機能により、記録時間の大幅な省力化が期待できる。</li> <li>・入力された情報は条件による絞り込み機能で簡単に表示できるため、会議などで使用するための情報の分析・活用がしやすくなる。</li> <li>・申し送り事項は一目で確認できるようアラートとして表示されるため、引継ぎをすばやく完了させることが可能になる。</li> <li>・記録業務を電子化することで、リアルタイムな情報共有が容易になり、サービスの向上を期待できる。</li> </ul>		
導入により達成すべき目 標	<p>○導入後（翌年）1年目 リアルタイムな情報共有によりヒヤリハットなどのインシデント削減</p> <p>○2年目 事務作業に関わる時間を1時間削減、 利用者とふれあう時間を1時間増加</p> <p>○3年目 事務作業に関わる時間を2時間削減、 利用者とふれあう時間を2時間増加</p>		
導入により期待される効 果等	<p>○導入後（翌年）1年目 システム運用により業務を標準化し、品質と生産性の向上を目指す</p> <p>○2年目 職員の意欲向上、人材の定着を目指す</p> <p>○3年目 サービス利用者の満足度向上、経営の安定化を目指す</p>		
効果検証の方法 (効果に関 するデータを客観的な評 価指標に基づいて記録)	<p>現在、手書きで作成しているケア記録などの諸記録類をオンライン化することで、介護業務の省力化に資するとともに、実際にどの程度改善されたのかについて、システム導入前と導入後に定期的に職員にアンケートを実施し、具体的な効果を数値化することとする。</p>		

## 2 補助事業計画書

事業者名	オーリンク株式会社		
事業所名	介護付有料老人ホームフォーリーフ嶋 【事業所番号：0670103233】	利用者数	50名
介護サービスの種類	(介護予防)特定施設入居者生活介護	職員数 (常勤換算)	28.18
導入する製品名・機器名 導入時期及び台数	内田洋行製 絆 Core 一式購入 令和2年12月導入予定		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	○購入・リース (契約期間 年 月～ 年 月)		
事業概要 (現在の問題点・ 運用方法・職員との導入意 義の共有)	<p>介護現場にて介護記録データの登録・閲覧を可能にし、情報共有の効率化とサービスの向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・記載事項のテンプレート活用や一括入力機能により、記録時間の大幅な省力化が期待できる。</li> <li>・入力された情報は条件による絞り込み機能で簡単に表示できるため、会議などで使用するための情報の分析・活用がしやすくなる。</li> <li>・申し送り事項は一目で確認できるようアラートとして表示されるため、引継ぎをすばやく完了させることが可能になる。</li> <li>・記録業務を電子化することで、リアルタイムな情報共有が容易になり、サービスの向上を期待できる。</li> </ul>		
導入により達成すべき目 標	<p>○導入後 (翌年) 1年目 リアルタイムな情報共有によりヒヤリハットなどのインシデント削減</p> <p>○2年目 事務作業に関わる時間を1時間削減、 利用者とふれあう時間を1時間増加</p> <p>○3年目 事務作業に関わる時間を2時間削減、 利用者とふれあう時間を2時間増加</p>		
導入により期待される効 果等	<p>○導入後 (翌年) 1年目 システム運用により業務を標準化し、品質と生産性の向上を目指す</p> <p>○2年目 職員の意欲向上、人材の定着を目指す</p> <p>○3年目 サービス利用者の満足度向上、経営の安定化を目指す</p>		
効果検証の方法 (効果に関 するデータを客観的な評 価指標に基づいて記録)	<p>現在、手書きで作成しているケア記録などの諸記録類をオンライン化することで、介護業務の省力化に資するとともに、実際にどの程度改善されたのかについて、システム導入前と導入後に定期的に職員にアンケートを実施し、具体的な効果を数値化することとする。</p>		

## 2 補助事業計画書

社会福祉法人米沢弘和会

事業者名	さんデイケアホームヘルパーステーション		
事業所名	さんデイケアホームヘルパーステーション 【事業所番号：0670400324】	利用者数	38名 (延べ)
介護サービスの種類	訪問介護	職員数 (常勤換算)	6名
導入する製品名・機器名 導入時期及び台数	すぐろく Home 一式購入 令和2年12月導入予定		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	○購入・リース(契約期間 令和 年 月～令和 年 月)		
事業概要(現在の問題点・ 運用方法・職員との導入意 義の共有)	現在、訪問介護記録等全てを手書きにて作成している。また訪問先は市内一円となっているにも関わらず、当事業所は市内西部の山間部に位置しており、移動時間も多くの時間を要する。記録は訪問先から一旦事業所に戻り記入することになり、移動時間と合わせると更に時間がかかってしまう状況にある。職員の残業時間の増大にもなっており、ICTの導入については職員の総意となっている。		
導入により達成すべき目 標	○導入後(翌年)1年目 ICT(iPad 利用)に職員が慣れ、活用できるようになる。訪問先と次の訪問宅の空き時間の有効利用を目標とする。 ○2年目 更なるICT活用により、支援、利用者への対応にも余裕が生まれ、より支援内容の質の向上、充実を図る。 ○3年目 利用者状況の共有がスムーズな行われ、細かな利用者の変化や画像の取り込み、撮影により、分かり易い情報の伝達、報告を目指す。		
導入により期待される効 果等	○導入後(翌年)1年目 訪問記録の時間短縮、職員の残業時間の軽減。 ○2年目 サービス担当者会議等での利用状況の報告内容の充実、情報の共有化。 ○3年目 利用者支援に関わる時間が増えることによるサービスの質の向上。その結果から新規利用件数、ケアマネージャーからの紹介の増加を期待できる。		
効果検証の方法(効果に関 するデータを客観的な評 価指標に基づいて記録)	例) 介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度、日々の活用状況が確認できる日誌等を用いるなど他の介護サービス事業者等の参考となるべき内容等 介護時間の短縮、残業時間の短縮。		